

Q仕様 インテリジェントビルなど床下に電気配線やネットワーク配線などが敷設されているフリーアクセスフロアやOAフロア等に適応しています。

Q 工法

施工適応箇所: ●フリーアクセス ベースフロア

工法仕様図

仕様

仕様	標準使用量 (kg/m ²)
①プライマー AP液	0.1
②パラテックス Q1材	1.27
③パラテックス Q2材	0.95

材料配合

材料	配合 (kg/m ²)	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	可使用時間 (分)	標準乾燥時間 (時)
プライマー ①プライマー AP液	プライマー AP 0.033 + 水 0.067	0.10	吹付	—	0.5~5
防水層 ②パラテックス Q1材	パラテックス原液 0.60 + Q1混和材 0.67	1.27	刮付	60	6~24
③パラテックス Q2材	パラテックス Q2原液 0.45 + Q2混和材 0.50	0.95	刮付	60	6~24

[注] 配合は、小数点第3位または第4位を四捨五入した塗布量値です。上記の標準乾燥時間は現場状況(外部、内部、温度、湿度差)により左右されます。可使用時間は常温(23℃)での数値です。

各工程について パラテックス防水工法の代表的な施工の様子です。

防水下地について

- C仕様、C-BR(D、Q)仕様には補強布を張るため、平坦性、平滑性が必要です。下地はコンクリート金コテ仕上げ程度でお願いします。
- コンクリート表面のレイタンス、付着物等はケレン除去してください。
- 入り隅は通りよく直角、出隅は通りよく面取りとしてください。
- RC造以外の下地(ALC等)についてはご相談ください。
- その他、P45~P46(注意事項)をご参照ください。

プライマー層

パラテックスプライマー液

防水層補強塗り(別途工事)

防水層

パラメッシュII張り材

パラテックス A 材

パラテックス B 材

パラテックス Q1 材

パラテックス Q2 材

保護層

カラーコート材

ヒートバリアトップ材

パラコート材

パラテックス EP-800A 材

パラテックス EP-GSX 材

パラテックス吹付け工法

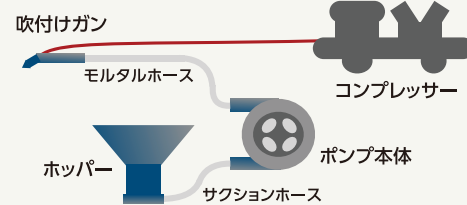
パラテックスは水性の材料で構成されているため、吹付け施工の際の火気による引火の危険や、臭気の拡散による周辺環境への影響がありません。

●吹付け機 ローターポンプ OKG-07M 岡三機工(株)製



吹付け機仕様

項目	数値
吐出量	Min2.3 ~ Max10.3ℓ/分
吐出圧	Max1.3MPa
ホッパー容量	27.0ℓ (80%相当)
電源電圧	単相 AC100V 定格 7.0A 50Hz/60Hz
寸法	W425×D445×H320mm
重量	31kg
ノズル口径	4.0 ~ 6.0mm (特注品)



パラテックス吹付けのための希釈率

材 料	各材料に対する水による希釈率 (%)
パラテックス A 材	4 ~ 6
パラテックス Q1材	5 ~ 7
パラテックス B 材	7 ~ 10

※その他保護仕上げ材等も吹付け施工可能なものがあります。
※防水層は標準使用量を2~3回に分けて重ね吹きます。



注意事項

- 飛散、機械内部への材料残存等により10%程度の材料ロスが発生します。
- 施工を一時休止する場合は機械の通水洗浄が必要になります。(洗浄水は国及び地方自治体の規則に従って処分してください。)
- 吹付け機一式(ポンプ本体、ホッパー+サクシオンホース、モルタルホース、吹付けガン)の他に別途エンジンコンプレッサーが必要となります。
- ロータリーポンプの他、重力式カップガンによる吹付けも可能です。
- ロータリーポンプ吹付け機に関しては弊社までお問い合わせください。